

## 報 告

伊豆半島初記録となるカクレイワガニ *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853) (十脚目：イワガニ上科：イワガニ科)

佐藤武宏・貞家遼平

Takehiro Sato and Ryohei Teika: The first record of Purple-Backed Shore Crab *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853) (Decapoda: Grapsoidea: Grapsidae) from Izu Peninsula, central Japan

**Abstract:** An individual purple-backed shore crab *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853) was collected alive in June 2025 in Minami-Izu Town, Izu Peninsula, central Japan. This is the northernmost record of this species with a verifiable specimen. Recently, the distribution of several southern species of the superfamily Grapsoidea has expanded to the north and east, and it is possible that this species has followed a similar trend.

## 緒 言

カクレイワガニ *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853) はインド・太平洋の熱帯から亜熱帯域、すなわち、日本南岸からオーストラリア沿岸、ハワイ沿岸から紅海およびアフリカ東岸に広く分布し (酒井, 1976; 峯水, 2000)、インドー西太平洋区動物群 (西村, 1992) の一員にあたる広域分布種であると考えられる、イワガニ上科 Grapsoidea イワガニ科 Grapsidae のカニである (Ng *et al.*, 2008)。本種は海岸から内陸まで生息する陸生種であり (豊田, 2019)、特に南硫黄島では標高 900 m を超える山頂域まで生息が確認されている (佐々木ほか, 2018)。本種の国内における分布は紀伊半島南部 (和歌山県) から南西諸島、八丈島、小笠原諸島とされており (豊田, 2019)、その詳細は是枝 (2023) によってまとめられている (図 1)。本州における唯一の記録地である紀伊半島南部では、これまで 2 例の報告 (和田, 1978; 永井, 1990) があり、その後も散発的な確認情報や写真が新聞やウェブサイト等に掲載されているが、記録が限られていることから和歌山県レッドリストでは情報不足とカテゴリーされている (和田, 2022)。今回、本種の生きた個体が伊豆半島南端に近い静岡県南伊豆町で初めて採集され、標本に基づく本種の北限記録が大幅に更新されたので、ここに報告する。

## 材料と方法

2025 年 6 月 28 日の夜間 (22–23 時)、伊豆半島南西部の伊豆海岸 (静岡県賀茂郡南伊豆町伊浜) において、鮮やかな紫色を呈するカニの生体が、第二著者である貞家により徒手で採集された。この個体は生時に室内で写真撮

影された後、冷凍された。冷凍個体は解凍、展脚を経て、10 vol% 中和ホルマリン水溶液で固定して標本化された後、写真撮影された。標本は 70 wt% エチルアルコール水溶液に浸漬され保存された。標本の計測にはデジタルノギス (ミットヨ製 ABS デジマチックキャリパ CD-S20C) を用い、複数回計測した測定値の最大最小値を除いた値の平均値を 0.1 mm 単位で求めた。標本の観察、測定結果に基づき、文献 (酒井, 1976; 武田, 1982; 三宅, 1983; 峯水, 2000; 豊田, 2019) と比較して種同定を行った。標本は神奈川県立生命の星・地球博物館に収蔵した (標本番号 KPM-NH0005277)。

## 結 果

## イワガニ上科 Superfamily Grapsoidea

## イワガニ科 Family Grapsidae

## カクレイワガニ

*Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853)

(図 2, 3)

## 標本

標本番号 KPM-NH0005277 (神奈川県立生命の星・地球博物館)、1 個体、メス、甲幅 37.5 mm、甲長 31.6 mm、静岡県賀茂郡南伊豆町伊浜 (lat. 34°41'22.1"N, long. 138°45'35.6"E, 図 1)、貞家遼平採集、徒手。

## 形態

甲は褐色を帯びた紫色を呈し縁辺部では色が薄くなり白色に近づく (図 2)。胃域と鰓域の境界部および心域鰓域の境界部に白斑を持つ。外形はほぼ四角形で前側縁

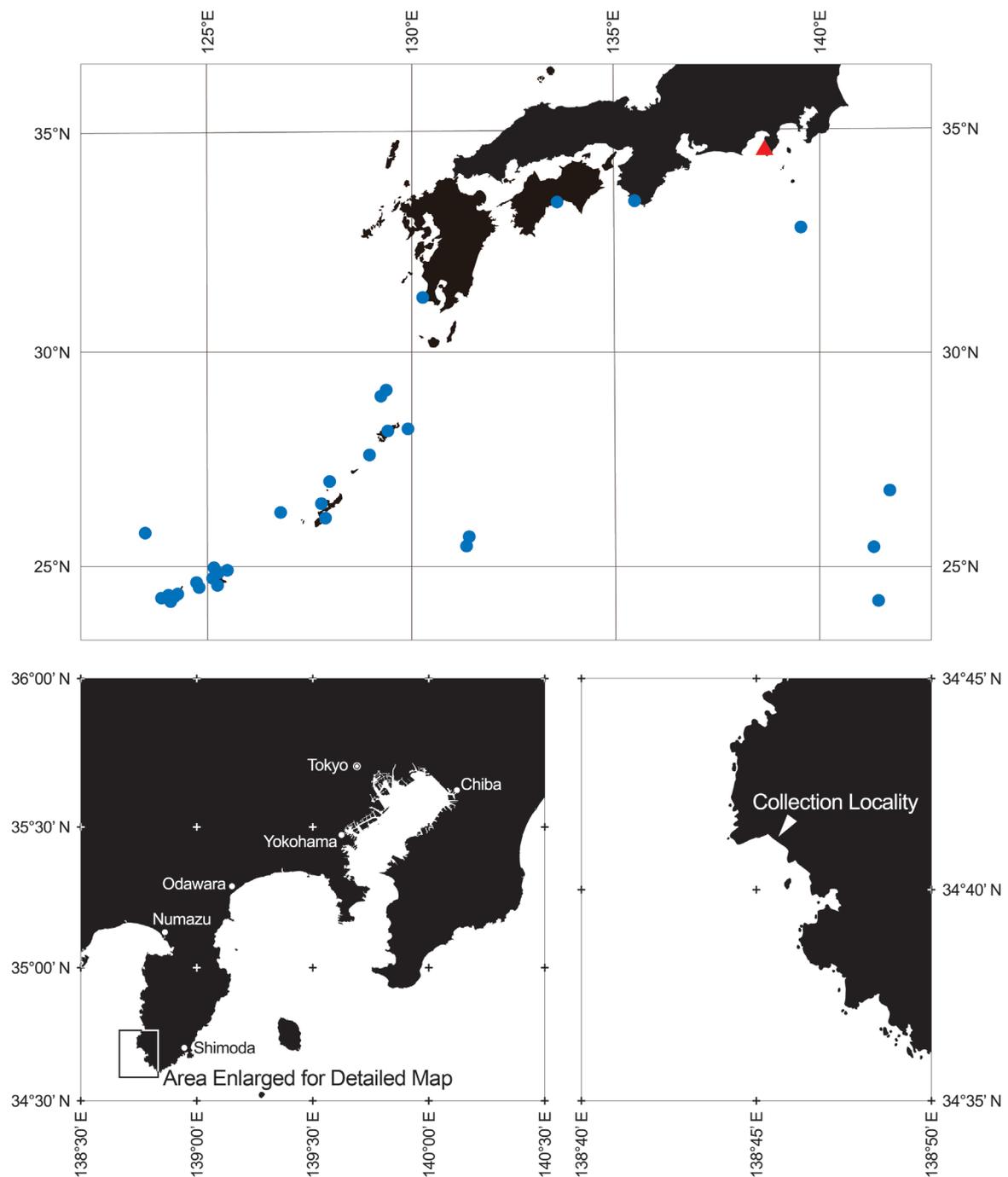


図1. カクレイワガニ *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853) の既産地(青の丸) および本報告標本の採集地(赤の三角)。  
既産地は是枝(2023)に基づきプロットした。  
Fig. 1. Previously known localities (blue circles) and collection locality (red triangle) of *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853). The plots of known localities are based on Koreeda (2023).

が丸みを帯び、甲面はほぼ平面状だが鰓域がわずかに盛り上がる。表面は平滑で光沢があり、条線が横走る。額の後方がわずかに窪む(図3)。額は下方に急傾斜し、眼孔の中心線を超えたあたりまで至り、先端は直線状になる(図2)。前側縁には眼後歯とその直後に1歯の合計2歯を有する。前側縁は稜状になるが後側縁は稜状にならない。後側縁は後方に向かうにつれ少しずつ狭まり、後縁に達する(図3)。

鉗脚は比較的大きく、本個体では左右ほぼ同じ大きさ、形態にも目立った差違は認められない。鉗脚各節は平滑

無毛で、鮮やかな紫色を呈するが、指節の先端と前節の不動指部分は白色。座節の遠位(長節側)内面に2小歯を持つ。長節および腕節には横断方向の条線が発達し鱗状を呈する。長節の遠位(腕節側)内面に葉状突起があり6歯を持つ。腕節の遠位(指節側)内面に1大歯を持つ。指節および前節不動指部分の咬合面には顆粒状の歯が並ぶ(図2,3)。

歩脚は薄い紫色を呈し、著しく扁平で(図2,3)、長節の遠位(腕節側)背面後縁が翼状に広く張り出す。同所の腹面後縁はわずかに張り出し、長節遠位(腕節側)全



図 2. カクレイワガニ *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853). 生時. 2025 年 6 月 29 日, 貞家遼平撮影.  
Fig. 2. A live Purple-backed shore crab *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853) . Photograph taken by Ryohei Teika on June 29, 2025.



図 3. カクレイワガニ *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853). 標本. 甲幅:37.5 mm;甲長:31.6 mm. 2025 年 7 月 20 日, 佐藤武宏撮影.  
Fig. 3. Purple-backed shore crab *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853), specimen (KPM-NH0005277). Carapace width = 37.5 mm; carapace length = 31.6 mm. Photograph taken by Takehiro Sato on July 20, 2025.

体の後縁は抉られたような凹形を示す。底節遠位（基節側）、腕節遠位（指節側）の腹面および長節近位（座節側）の後縁に短く黒い剛毛が疎生する。腕節、前節、指節の前後縁に長短の黒い剛毛が疎生する（図2, 3）。第2歩脚と第3歩脚の間、両脚の底節縁辺に軟毛が密生する。

以上の特徴を識別の根拠として（酒井, 1976; 武田, 1982; 三宅, 1983; 峯水, 2000; 豊田, 2019）、本個体をカクレイワガニと同定した。

### 生息状況

本個体は海岸の堤防基部に地面と平行に開けられた、直径7-8 cmの水抜き孔と思われる孔から出現した。同じくらいのサイズで本個体同様の鮮やかな紫色を呈する個体が周辺に3個体ほど生息しているのが目視により確認された。本種は陸生種であるが幼生は海域で成長し石垣島では5-8月の満月前後の日没後に放幼されたという記録（小菅, 2017）があるが、本個体は抱卵個体ではなかった。

参考までに採集時の月齢は3.1、採集地点から最も近いAMeDASである石廊崎、松崎ともに気温は24.0℃であった。

### 考 察

近年、分布が南偏するカニの多くの記録が北方に拡大しているとされ、その理由としては海水温の上昇や黒潮の流路の北上だけでなく、関連する報告の充実や図鑑の充実、調査精度や努力量の向上などが指摘されている（乾ほか, 2019; 伊藤・崎山, 2024）。本種を含むイワガニ上科においても、過去10年以内に例えばイワガニ科のハシリイワガニモドキ *Metopograpsus thukuhar* (Owen, 1839) が2017年に相模湾で（伊藤・勝呂, 2018）、2019年に駿河湾で（伊藤, 2020）、モクズガニ科 Varunidae のヒラモクズガニ *Utica borneensis* (De Man, 1895) が2019年に相模湾で（乾ほか, 2021）、アゴヒロカワガニ *Ptychognathus altimanus* (Rathbun, 1914) が2020年に相模湾で（乾ほか, 2021）、それぞれ初記録として報告されており、本種も同様の傾向に従うものと考えられる。

本個体が採集された際に、同程度の甲幅で同種とみられる複数個体が目視で確認されたこと、既知の放幼時期が5-8月で特に6-7月に集中していること（小菅, 2017）、本種の最大甲幅が約50 mm（豊田, 2019）とされるのに対して本個体の甲幅は37.5 mmと充分成長していることなどから、本種は採集場所で越冬している可能性も高い。本種は陸生傾向が強く（豊田, 2019）、その生態的特徴により調査において見落とされてきた可能性があり、そのことが分布記録の少なさに繋がっているのかもしれないが、今後更に分布が北方、東方へ拡大することも推察されるため、動向について注視すべきと考えられる。

### 謝 辞

本報告にあたり匿名の査読者には有益なコメントとアドバイスをいただいた。図の制作にあたってはJSPS科

研費20K02753の助成により調達したソフトウェアを使用した。英文校正はエディテージ（www.editage.jp）の協力を得た。記して深謝する。

### 引用文献

- 伊藤寿茂, 2020. 駿河湾初記録となるハシリイワガニモドキ *Metopograpsus thukuhar* (Owen, 1839) (甲殻類: 十脚目: イワガニ科). 神奈川自然誌資料, (41): 17-20.
- 伊藤寿茂・崎山直夫, 2019. 相模湾初記録となるツブイボショウジンガニ *Plagusia immaculata* Lamarck, 1818. 神奈川自然誌資料, (40): 33-35.
- 伊藤寿茂・崎山直夫, 2024. 相模川河口域における希少種を含むカニ類8種の注目すべき追加記録. 水生生物, 2024: AA2024-14.
- 伊藤寿茂・勝呂尚之, 2018. 相模湾の汽水域で確認されたカニ類—特に北限産出となる希少種の記録について—. *Cancer*, 27: 17-27.
- 乾 直人・山川宇宙・碧木健人・是枝伶旺, 2021. 2019年9月以降に相模湾およびその周辺地域から採集された注目すべきカニ類7種. 神奈川自然誌資料, (42): 135-141.
- 是枝伶旺, 2023. 鹿児島県薩摩半島で採集された九州沿岸初記録のカクレイワガニ (十脚目: 短下目: イワガニ科). *Nature of Kagoshima*, 50: 51-54.
- 小菅丈治, 2017. カクレイワガニの放幼生. 南紀生物, 59(1): 27-29.
- 峯水 亮, 2000. カクレイワガニ. 峯水 亮著, 武田正倫・奥野淳児監修, ネイチャーガイド 海の甲殻類. p. 294. 文一総合出版, 東京.
- 三宅貞祥, 1983. カクレイワガニ. 三宅貞祥著, 原色日本大型甲殻類図鑑 (II). pp. 169-170 + plate 57-4. 保育社, 大阪市.
- 永井誠二, 1990. 和歌山県沿岸のカニ類相 IV. 南紀生物, 32: 115-119.
- 西村三郎, 1992. 日本近海における動物分布. 西村三郎編著, 原色検索日本海岸動物図鑑 [I]. pp. xi-xix. 保育社, 大阪.
- Ng P. L. K., D. Guinot & P. J. F. Davie. 2008. Systema Brachyurorum: Part I. An annotated checklist of extant brachyuran crabs of the world. *The Raffles Bulletin of Zoology*, 17: 1-86.
- 酒井 恒, 1976. カクレイワガニ. 酒井 恒 編著, 日本産蟹類. p. 392. 講談社, 東京.
- 佐々木哲朗・山田鉄也・向 顕嗣・堀越 宙・飴田洋祐・関口 匠, 2018. 南硫黄島の陸生大型甲殻類、特にその垂直分布について. 小笠原研究, (44): 305-314
- 武田正倫, 1982. カクレイワガニ. 武田正倫著, 原色甲殻類検索図鑑. p. 214. 北隆館, 東京.
- 豊田幸詞, 2019. 日本産淡水性・汽水性エビ・カニ図鑑. 398pp. 緑書房, 東京.
- 和田恵次, 1978. 本州産新記録のカニ、カクレイワガニ. 南紀生物, 20: 62.
- 和田恵次, 2022. カクレイワガニ *Geograpsus grayi* (H. Milne Edwards, 1853). 和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室編, 保全上重要なわかやまの自然—和歌山県レッドデータブック— [2022年改訂版], p.487. 和歌山県環境生活部環境政策局環境生活総務課自然環境室, 和歌山.

佐藤武宏: 神奈川県立生命の星・地球博物館; 貞家遼平: 日本生態学会

(受領 2025 年 10 月 30 日; 受理 2026 年 1 月 16 日)